

## 政府計画

## 健康日本21

- 1 公表時期 令和5年5月
- 2 計画期間 令和6年度～17年度（12年間）
- 3 目的と個別施策

	次期（第3次）	従前（第2次）
目的	全ての国民が健やかで心豊かに生活できる <u>持続可能な社会の実現</u> ※誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性をもつ取組みを推進	全ての国民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸・健康格差の縮小</li> <li>・個人の行動と健康状態の改善</li> <li>・社会環境の質の向上</li> <li>・<u>ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸と健康課題の縮小</li> <li>・生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底</li> <li>・社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上</li> <li>・健康を支え、守るための社会環境の整備</li> <li>・食生活、運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善</li> </ul>

## 4 主な見直しの内容

## (1) 社会環境の質の向上

- ・地域の人々とのつながりや様々な社会参加の促進
- ・健康に関心の薄い人を含め、自然に健康になれる環境づくり
- ・地方公共団体に加え、企業・民間団体等様々な主体による主体的取組みを推進

## (2) ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

- ・ライフステージに特有の健康づくりの取組みを推進
- ・従来の「子ども（次世代）」「高齢者」に加え、「女性の健康」を新たに項目立て

## 5 目標値設定 52項目 ※重複除く（現行の59項目から新規10項目、削除17項目）

## 6 今後のスケジュール

- ・中間評価：計画開始後6年（令和11年）
- ・最終評価：計画開始後10年（令和15年）※

※目標は令和14年度を目途として設定し、令和15年度に最終評価を行う。



## ●健康日本21（第2次）と（第3次）の目標の比較

項番	項目	指標	第2次目標（現行）	第3次目標（次期） ※特に表記がない場合、目標年はR14年度		
1. 健康寿命の延伸と健康格差の縮小	①健康寿命の延伸	日常生活に制限のない期間の平均	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	同左		
	②健康格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均の下位4分の1都道府県の平均	日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差の縮小	日常生活に制限のない期間の平均の上位4分の1都道府県の平均平均の増加分を上回る下位4分の1都道府県の平均の増加		
	（健康格差対策に取り組む自治体の増加）	日常生活に制限のない期間の平均の下位4分の1都道府県の平均	47	第3次から削除		
2. 個人の行動と健康状態の改善	(1) 栄養・食生活	①適正体重を維持している者の増加（肥満、やせ、低栄養傾向の高齢者の減少）	BMI 18.5以上25未満（65歳以上はBMI 20を超え25未満）の者の割合（年齢調整値）	20～60歳代男性の肥満者（BMI25以上）の割合28% 40～60歳代女性の肥満者（BMI25以上）の割合19% 20歳代女性のやせの者（BMI 18.5未満）の割合20%	BMI 18.5以上25未満（65歳以上はBMI 20を超え25未満）の者の割合66%	
		②児童・生徒における肥満傾向児の減少 （全出生数中の低体重児の割合の減少）	児童・生徒における肥満傾向児の割合	減少傾向へ	同左	
		③バランスの良い食事を食べている者の増加 （朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気を付けて食事をしている子供の割合）	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合80%	同 50%	
		④野菜摂取量の増加	野菜摂取量の平均値	野菜摂取量の平均値 350g	同左	
		⑤果物摂取量の改善	果物摂取量の平均値	果物摂取量100g未満の者の割合30%	果物摂取量の平均値 200g	
		⑥食塩摂取量の減少	食塩摂取量の平均値	食塩摂取量の平均値 8g	同 7g	
		(2) 身体活動・運動	①日常生活における歩数の増加	1日の歩数の平均値（年齢調整値）	(20～64歳)男性 9,000歩、女性8,500歩 (65歳以上)男性 7,000歩、女性6,000歩	1日の歩数の平均値（年齢調整値）7,100歩
			②運動習慣のある者の割合	運動習慣のある者の割合（年齢調整値）	(20～64歳)男性 36%、女性33% (65歳以上)男性 58%、女性48%	運動習慣のある者の割合（年齢調整値）40%
			③運動やスポーツを習慣的にしていないこどもの減少	1週間の総運動時間（体育授業を除く。）が60分未満の児童の割合	運動やスポーツを習慣的にしている子供の割合を増加傾向へ	[小学5年生] 男子4.4%、女子7.2%、[中学2年生] 男子3.9%、女子9.1% (R8年)
		(3) 休養	①睡眠で休養が十分取れている者の増加	睡眠で休養が十分取れている者の割合（年齢調整値）	睡眠で休養が十分取れていない者の割合 15%	睡眠で休養が十分取れている者の割合（年齢調整値）80%
			②睡眠時間が十分に確保できている者の増加	睡眠時間が6～9時間（60歳以上については、6～8時間）の者の割合（年齢調整値）	第3次から新規	睡眠時間が6～9時間（60歳以上については、6～8時間）の者の割合（年齢調整値）60%
			③週労働時間60時間以上の雇用者の減少	週労働時間40時間以上の雇用者のうち、週労働時間60時間以上の雇用者の割合	週労働時間60時間以上の雇用者の割合 5.0%	週労働時間40時間以上の雇用者のうち、週労働時間60時間以上の雇用者の割合5% (R7年)
	(4) 飲酒	①生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1日あたりの純アルコール量が、男性40g以上、女性20g以上の割合	1日あたりの純アルコール量が、男性40g以上、女性20g以上の割合 男性13%、女性6.4%	1日あたりの純アルコール量が、男性40g以上、女性20g以上の割合 10%	
		②20歳未満の飲酒をなくす	中学生・高校生の飲酒の割合	中学生・高校生の飲酒の割合 0%	同左	
	(5) 喫煙	①喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	20歳以上の者の喫煙率	20歳以上の者の喫煙率 12%	同左	
		②20歳未満の喫煙をなくす	中学生・高校生の喫煙の割合	中学生・高校生の喫煙の割合	同左	
		③妊婦中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	妊婦の喫煙率 0%	同左	
	(6) 歯・口腔の健康	①歯周病を有する者の減少	40歳以上における歯周炎を有する者の割合（年齢調整値）	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合 25% 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 25% 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 45%	40歳以上における歯周炎を有する者の割合（年齢調整値）40%	
		②よく噛んで食べることができる者の増加	50歳以上における咀嚼そしゃく良好者の割合（年齢調整値）	60歳代における咀嚼良好者の割合 80%	50歳以上における咀嚼良好者の割合（年齢調整値）80%	
		③歯科検診の受診者の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合 65%	同 95%	
		（80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合）	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	50%	第3次から削除	
		（60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合）	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	70%	第3次から削除	
		（40歳で喪失歯のない者の割合）	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	75%	第3次から削除	
		（3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県）	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	23	第3次から削除	
		（12歳児の一人平均歯数が1.0未満である都道府県）	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	28	第3次から削除	
		2-2. 生活習慣病の発症予防・重症化予防	(1) がん	①がんの年齢調整罹患率の減少	がんの年齢調整罹患率（人口10万人当たり）	第3次から新規
				②がんの年齢調整死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	75歳未満のがんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）73.9
③がん検診の受診率の向上	がん検診の受診率			がん検診の受診率 50%（胃がん・肺がん・大腸がんは当面40%）	がん検診の受診率 60%（R10年度）	
(2) 循環器	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少		脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり） （脳血管疾患）男性41.6 女性24.7 （虚血性心疾患）男性31.8 女性13.7	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）減少（R10年度）	
	②高血圧の改善		収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の者を含む。）（年齢調整値）	収縮期血圧の平均値 男性134mmHg 女性129mmHg	収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の者を含む。）（年齢調整値） ペースライン値から5mmHgの低下	
	③脂質（LDLコレステロール）高値の者の減少		LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合（40歳以上、内服加療中の者を含む。）（年齢調整値）	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性10% 女性17% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性6.2% 女性8.8%	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合（40歳以上、内服加療中の者を含む。年齢調整値） ペースライン値から25%の減少	
	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数（年齢調整値）	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数 平成20年度と比べて25%減少	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）	
	⑤特定健康診査の実施率の向上		特定健康診査の実施率	（「第2期医療費適正化計画」に合わせて設定）	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）	
	⑥特定保健指導の実施率の向上		特定保健指導の実施率	（「第2期医療費適正化計画」に合わせて設定）	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）	
(3) 糖尿病	①糖尿病の合併症（糖尿病腎症）の減少		糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数 15,000人	同 12,000人	
	②治療継続者の割合の増加		治療継続者の割合	治療継続者の割合 75%	同左	
	③血糖コントロール不良者の減少		HbA1c 8.0%以上の者の割合	HbA1c 8.0%以上の者の割合 1.0%	同左	
	④糖尿病有病者の増加の抑制		糖尿病有病者数（糖尿病が強く疑われる者）の推計値	糖尿病有病者数の増加の抑制 1,000万人	糖尿病有病者数（糖尿病が強く疑われる者）の推計値 1,350万人	
	⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（再掲）		上記と同じ	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数 平成20年度と比べて25%減少（再掲）	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）	
	⑥特定健康診査の実施率の向上（再掲）		上記と同じ	（「第2期医療費適正化計画」に合わせて設定）	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）	
(4) COPD	⑦特定保健指導の実施率の向上（再掲）	上記と同じ	（「第2期医療費適正化計画」に合わせて設定）	（令和6年度開始の「第4期医療費適正化計画」に合わせて設定）		
	①COPDの死亡率の減少	COPDの死亡率（人口10万人当たり）	COPDの認知度 80%	COPDの死亡率（人口10万人当たり）10.0		
	②口コモティブシンドロームの減少	足腰に痛みのある高齢者の人数（人口千人当たり）（65歳以上）	口コモティブシンドロームを認知している国民の割合 80%	足腰に痛みのある高齢者の人数（人口千人当たり）（65歳以上）210人（再掲）		
2-3. 心身の生活機能の維持・向上	①骨粗鬆症検診受診率の向上 （自殺者の減少）	骨粗鬆症検診受診率	第3次から新規	骨粗鬆症検診受診率 15%		
	②心理的苦痛を感じている者の減少	K6（こころの状態を評価する指標）の合計得点が10点以上の者の割合	（自殺総合対策大綱の見直しの状況を踏まえて設定）	第3次から削除		
	③心理的苦痛を感じている者の減少	K6（こころの状態を評価する指標）の合計得点が10点以上の者の割合	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合 9.4%	K6（こころの状態を評価する指標）の合計得点が10点以上の者の割合 9.4%		

項番	項目	指標	第2次目標（現行）	第3次目標（次期） ※特に表記がない場合、目標年はR14年度			
3. 社会環境の質の向上	3-1. 社会とのつながりの維持・向上	①地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合	自分と地域をつながりが強い方だと思う者の割合 65%	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合 45%		
		②社会活動を行っている者の増加	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている者の割合	第3次から新規	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている者の割合 ベースライン値から5%の増加		
		（健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合）		25%	第3次から削除		
		③地域等で共食している者の増加	（調整中）	第3次から新規	地域等で共食している者の割合 30%		
		（食事を一人で食べる子どもの割合の減少）		減少傾向へ	第3次から削除		
	3-2. 自然に健康になれる環境づくり	④メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加	（小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合）	メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合 100%	メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合 80%（R9年度）	
					増加傾向へ	第3次から削除	
			⑤心のサポーター数の増加	心のサポーター数	第3次から新規	心のサポーター数 100万人（R15年度）	
		①「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」の推進		「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」に登録されている都道府県数	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む都道府県数 47	「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」に登録されている都道府県数 47	
			②「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む市町村数の増加	滞在快適性等向上区域（まちなかウォークアブル区域）を設定している市町村数	滞在快適性等向上区域（まちなかウォークアブル区域）を設定している市町村数	滞在快適性等向上区域（まちなかウォークアブル区域）を設定している市町村数 100（R7年度）	
	3-3. 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	③望まない受動喫煙の機会を有する者の減少		望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	望まない受動喫煙のない社会の実現	
			①スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体の増加	スマート・ライフ・プロジェクトへ参画し活動している企業・団体数	第3次から新規	スマート・ライフ・プロジェクトへ参画し活動している企業・団体数 1,500団体	
				②健康経営の推進	保険者とともに健康経営に取り組む企業数	第3次から新規	保険者とともに健康経営に取り組む企業数 10万社（R7年度）
				（健康づくりに関する活動に取組み、自発的に情報発信を行う企業登録数）		3,000社	第3次から削除
				（健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数）		15,000	第3次から削除
③利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設（病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。）の割合	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 80%	管理栄養士・栄養士を配置している施設（病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。）の割合 75%				
	（食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業・飲食店の登録数）	食品企業 100社、飲食店30,000店	第3次から削除				
④必要な産業保健サービスを提供している事業場の増加	各事業場において必要な産業保健サービスを提供している事業場の割合	第3次から新規	各事業場において必要な産業保健サービスを提供している事業場の割合 80%				
4. ライフコース	4-1. こども	①運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少（再掲）	上記と同じ	運動やスポーツを習慣的にしている子供の割合を増加傾向へ	〔小学5年生〕男子4.4%、女子7.2%、〔中学2年生〕男子3.9%、女子9.1%（R8年）		
		②児童・生徒における肥満傾向児の減少（再掲）	上記と同じ	減少傾向へ（再掲）	同左		
		③20歳未満の者の飲酒をなくす（再掲）	上記と同じ	中学生・高校生の飲酒の割合（再掲）	中学生・高校生の飲酒の割合 0%（再掲）		
		④20歳未満の者の喫煙をなくす（再掲）	上記と同じ	中学生・高校生の喫煙の割合（再掲）	中学生・高校生の喫煙者の割合 0%（再掲）		
	4-2. 高齢者	①低栄養傾向の高齢者の減少（適正体重を維持している者の増加の一部を再掲）	BMI 20以下の高齢者（65歳以上）の割合	BMI 20以下の高齢者の割合 22%	BMI 20以下の高齢者（65歳以上）の割合 13%		
			②ロコモティブシンドロームの減少（再掲）	上記と同じ	ロコモティブシンドロームを認知している国民の割合 80%	足腰に痛みのある高齢者の人数（人口千人当たり）（65歳以上）210人（再掲）	
		（介護保険サービス利用者の増加の抑制）		657万人	第3次から削除		
		（認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上）		10%	第3次から削除		
		③社会活動を行っている高齢者の増加（社会活動を行っている者の増加の一部を再掲）	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている高齢者（65歳以上）の割合	何らかの社会活動を行っている高齢者の割合 80%	いずれかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っている高齢者（65歳以上）の割合 ベースライン値から10%の増加		
	4-3. 女性	①若年女性のやせの減少（適正体重を維持している者の増加の一部を再掲）	BMI 18.5未満の20歳～30歳代女性の割合	BMI 18.5未満の20歳代女性の割合 20%	BMI 18.5未満の20歳～30歳代女性の割合 15%		
			②骨粗鬆症検診受診率の向上（再掲）	上記と同じ		骨粗鬆症検診受診率 15%（再掲）	
		③生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している女性の減少（生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少の一部を再掲）	1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合	1日当たりの純アルコール量が、男性40g以上、女性20g以上の割合 女性6.4%	1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合 6.4%		
		④妊娠中の喫煙をなくす（再掲）	上記と同じ	妊婦の喫煙率 0%	妊婦の喫煙率 0%		
		（妊娠中の飲酒をなくす）	上記と同じ	妊婦の飲酒率 0%	第3次から削除		

## 県計画

## 健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」

## 1 計画期間 令和6年度～17年度（12年間）

※目標は、政府計画にあわせ令和14年度を目途として設定し、令和16年度に最終評価を行う。

## 2 新たな計画の方向性

- (1) 現行の「第3章 健康増進」における「生活習慣及び社会環境の改善」、「生活習慣病等の発症予防と重症化予防の徹底」の**2本の柱は維持**しつつ、次期健康日本21に盛り込まれている事項を網羅
- (2) 次期健康日本21で示された新たな視点を踏まえ、「女性の健康」、「自然に健康になれる環境づくり」、「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備」を新たに項目立てるとともに、項目立てに応じた評価指標を追加
- (3) 「健康寿命の延伸」に係る目標を新たに設定（現在は、「山形県保健医療計画」に記載）
- (4) 「高齢者の健康」や「社会とのつながり・こころの健康」に係る目標を充実

## 3 目標の見直し

## (1) 現行計画の評価指標数と評価

A又はA' 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	合計
15	15	6	6	0	42

※A, A' 「改善」…目標を達成又は7割以上の改善 B 「やや改善」…2割以上7割未満の改善  
C 「横ばい」…2割未満の増減 D 「悪化」…2割以上の悪化 E 「評価不能」

## (2) 次期計画の評価指標設定

継続(14) 指標・目標値 とも変更なし ①	見直し(21)				新規(8)		廃止(7)		合計
	指標の見直し <sup>※1</sup>		目標値の見直し		国準拠 ⑥	県独自 ⑦	国準拠 ⑧	県独自 ⑨	
	国準拠 ②	県独自 ③	国準拠 ④	県独自 ⑤					
14	7	6	5	3	4	4	2	5	43

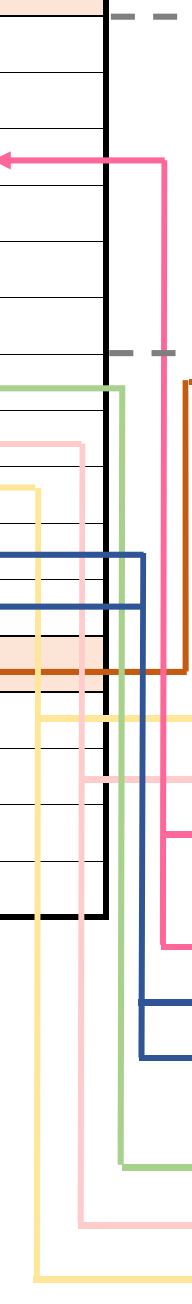
※1 評価指標の対象範囲等に係る見直し。これに併せて、目標値も変更となる。

# 健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の構成案

県 現行プラン（平成25年度～令和5年度）	
1 基本的な方向	全ての県民が共に支え合い、健やかで心豊かに安心して生活できる <b>活力ある社会</b> の実現
（第2章 総論 2全体目標 「健康寿命を延ばす」）	
2 生活習慣及び社会環境の改善	
(1) 栄養・食生活	
(2) 身体活動・運動	
(3) 休養・こころの健康	
(4) 飲酒	
(5) 喫煙	
3 生活習慣病等の発症予防と重症化予防の徹底	
(1) がん（第4章 がん対策に集約）	
(2) 循環器病（第5章 循環器病対策に集約）	
(3) 糖尿病	
(4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	
(5) 歯・口腔の健康（第6章 歯科口腔に集約）	
(6) 高齢者の健康	

県 次期プラン（令和6年度～17年度）	
1 基本的な方向	全ての県民が共に支え合い、健やかで心豊かに安心して生活できる <b>持続可能な社会</b> の実現
（第2章 総論 2全体目標 「健康寿命を延ばす」）	
2 生活習慣及び社会環境の改善	
(1) 栄養・食生活	
(2) 身体活動・運動	
(3) 休養・睡眠・こころの健康	
(4) 飲酒	
(5) 喫煙	
(6) 歯・口腔の健康（第6章 歯科口腔に集約）	【3 生活習慣病等の発症予防と重症化の予防から移動】
(7) こどもの健康	<b>新規</b>
(8) 女性の健康	<b>新規</b>
(9) 高齢者の健康	【3 生活習慣病等の発症予防と重症化の予防から移動】
(10) 自然に健康になれる環境づくり	<b>新規</b>
(11) 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	<b>新規</b>
3 生活習慣病等の発症予防と重症化予防の徹底	
(1) がん	
(2) 循環器病	
(3) 糖尿病	
(4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	

政府 次期計画（令和6年度～17年度）	
目的	全ての国民が健やかで心豊かに生活できる 持続可能な社会の実現
1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小	
2 個人の行動と健康状態の改善	
(1) 生活習慣の改善	
○ 栄養・食生活	
○ 身体活動・運動	
○ 休養・睡眠	
○ 飲酒	
○ 喫煙	
○ 歯・口腔の健康	
(2) 生活習慣病の発症予防・重症化予防	
○ がん	
○ 循環器病	
○ 糖尿病	
○ COPD	
(3) 生活機能の維持・向上	
○ ロコモティブシンドローム予防	<b>【新規】</b>
○ 骨粗鬆症予防	<b>【新規】</b>
○ こころの健康	
3 社会環境の質の向上	
(1) 社会とのつながり、こころの健康の維持・向上	
(2) 自然に健康になれる環境づくり	<b>【新規】</b>
(3) 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	<b>【新規】</b>
4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	
(1) こども	<b>【新規】</b>
(2) 女性	<b>【新規】</b>
(3) 高齢者	





健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現 行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」										
整理番号	分野	目標	評価指標	H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
				数値	指標年度	直近値	指標年度			
0	健康長寿	健康寿命を延ばす	健康寿命の全国順位 ※現在は「山形県保健医療計画」で設定	男性7位 女性23位	H28	男性24位 女性23位	H28	男女とも10位以内	—	健康日本21(第2次)の地域格差の評価と要因分析に関する研究
1	栄養生活	適正体重を維持している者の増加	40歳代男性の肥満者の割合(肥満者: BMI25以上)	31.0%	H22	36.4%	R4	28%	D	県民健康・栄養調査
2			20歳代女性のやせの者の割合(やせの者: BMI18.5未満)	25.5%	H22	22.2%	R4	20%	B	
3			学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定された者の割合(小・中学生)	2.6%	H23	2.9%	R4	1.8%	C	山形県学校保健の現況(スポーツ保健課まとめ)
4			野菜摂取量の平均値(20歳以上)	320.2g	H22	291.9g	R4	350g	D	県民健康・栄養調査
5			果物摂取量100g未満の者の割合(20歳以上)	54.1%	H22	58.3%	R4	30%	C	
6			食塩摂取量の平均値(20歳以上)	12.2g	H22	10.5g	R4	8g	B	
7			牛乳・乳製品摂取量200g未満の者の割合(20歳以上)	78.3%	H22	75.8%	R4	65%	C	
8			児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生 9.9% H24	13.7%	R4	4.5%	D	全国学力・学習状況調査	
9			中学3年生	12.7% H24	16.7%	R4	6.2%	D		
10			栄養のバランスを考えて食事をとっている者の割合(20歳以上)	69.2%	H22	75.9%	R4	80%	B	県民健康・栄養調査
11			管理栄養士等が栄養管理を行っている給食施設の増加	管理栄養士又は栄養士を配置している特定給食施設の割合	70.5%	H23	79.5%	R4	80%	A'



【次 期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」								【次期】健康日本21			
整理番号	分野	目標	評価指標	R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値	
				数値	指標年度						
1	健康長寿	健康寿命を延ばす	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	男性72.65 女性75.67	R1	評価指標のとおり	国民生活基礎調査	⑦	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	—	
2	栄養生活	適正体重を維持している者の増加	20～50歳代男性の肥満者の割合(肥満者: BMI25以上)	36.4%	R4	28%	県民健康・栄養調査	③	BMI18.5以上25未満(65歳以上は20超～25未満)の者の割合(年齢調整値)	66%	
			20歳～30歳代女性のやせの者の割合(やせの者: BMI18.5未満)	「女性」へ移動(P5参照)					BMI18.5未満の20歳～30歳代の女性の割合	15%	
			児童・生徒における肥満傾向児の割合(10歳(小学5年生)男子)	「子ども」へ移動(P5参照)					児童・生徒における肥満傾向児の割合(10歳(小学5年生)男子)	減少	
3	栄養生活	適切な量と質の食事をとる者の増加	野菜摂取量の平均値(20歳以上)	291.9g	R4	350g	県民健康・栄養調査	①	野菜摂取量の平均値	350g	
4			果物摂取量の平均値(20歳以上)	104.2g	R4	200g			②	果物摂取量の平均値	200g
5			食塩摂取量の平均値(20歳以上)	10.5g	R4	7g			④	食塩摂取量の平均値	7g
6			牛乳・乳製品摂取量200g未満の者の割合(20歳以上)	75.8%	R4	65%			①	[設定なし]	—
			児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生 中学3年生	「子ども」へ移動(P5参照)					[第3次から削除]	—
7			主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日(ほぼ毎日)の者の割合(20歳以上)	—	—	50%	県民健康・栄養調査(設問の変更を要する)	③	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日(ほぼ毎日)の者の割合	50%	
			管理栄養士等が栄養管理を行っている給食施設の増加	「健康増進のための基盤整備」へ移動(P6参照)					管理栄養士・栄養士を配置している施設(病院・介護老人保健施設、介護医療院を除く)の割合	75%	

①…(継続) 指標・目標値とも変更なし  
 ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)  
 ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)

④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)  
 ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)  
 ⑥…(新規) 国準拠

⑦…(新規) 県独自  
 ⑧…(廃止) 国準拠  
 ⑨…(廃止) 県独自

健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」											
整理番号	分野	目標	評価指標		H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
					数値	指標年度	直近値	指標年度			
12	身体活動・運動	運動習慣者の割合の増加	20～64歳の運動習慣者の割合	男性	29.4%	H22	40.2%	R4	36%	A	県民健康・栄養調査
13				女性	21.8%	H22	29.0%	R4	33%	B	
14	休養・健康	睡眠を十分とれていない者の割合の減少	睡眠による休養を十分とれていない者の割合(20歳以上)		24.8%	H22	21.8%	R4	15%	B	県民健康・栄養調査
15		自殺者の減少	自殺者の割合(人口10万対)		22.8	H23	17.8	R4	16(R4)	A'	人口動態統計(確定数)
16	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)	男性	17.6%	H22	17.7%	R4	13%	C	県民健康・栄養調査
17				女性	7.3%	H22	10.8%	R4	6.4%	D	
18		未成年者及び妊娠中の女性の飲酒をなくす	未成年者の飲酒割合	高校3年生男子	4.3%	H22	0%	R4	0%	A	県民健康・栄養調査
19				高校3年生女子	2.0%	H22	0%	R4	0%	A	
20	妊娠中の女性の飲酒割合			4.2%	H23	0.8%	R2	0%	A'	母子保健事業のまとめ	



【次期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」										【次期】健康日本21	
整理番号	分野	目標	評価指標		R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
					数値	指標年度					
8	身体活動・運動	運動習慣者の割合の増加	20歳以上の運動習慣者の割合	男性	45.6%	R4	男性50% 女性40%	県民健康・栄養調査	③	運動習慣者の割合(年齢調整値)	40%
9				女性	36.1%	R4			③		
10		1日の歩数の平均値(20～64歳)	男性7098歩 女性5893歩	H28	8,000歩	国民健康・栄養調査	⑦	1日の歩数の平均値(年齢調整値)	7,100歩		
11	休養・睡眠・健康	睡眠を十分とれていない者の割合の減少	睡眠による休養をとれている者の割合(20歳以上)	78.2%	R4	80%	県民健康・栄養調査	②	睡眠で休養をとれている者の割合(年齢調整値)	80%	
12		社会活動を行っている者の増加	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている者の割合	※次回調査はR10年度	—	ベースラインから5%増	県民健康・栄養調査(設問の変更を要する)	⑥	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている者の割合	ベースラインから5%増	
13		心のサポーター数の増加	「心のサポーター」(ゲートキーパー)養成者数(累計) ※「いのち支える山形県自殺計画」では、ゲートキーパーを「心のサポーター」と称しており、健康日本21でいう心のサポーターとは異なる。	51,700人	R3	80,000人(R9)	いのち支える山形県自殺対策計画	⑦	心のサポーター数	100万人	
		自殺者の減少	自殺者の割合(人口10万対) ⇒いのち支える山形県自殺対策計画(H30～)の策定を受けて削除	17.8	R4	廃止		⑨	[設定なし]		
14	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)	男性	18.1%	R4	12%	県民健康・栄養調査	①	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	10%
15				女性	10.8%	R4	6.4%		①		
		未成年者及び妊娠中の女性の飲酒をなくす	20歳未満の者の飲酒割合	高校3年生男子 高校3年生女子	「子ども」へ移動(P5参照)				中学生・高校生の飲酒者の割合	0%	
		妊娠中の女性の飲酒割合		「女性」へ移動(P5参照)				[第3次から削除]	—		

①…(継続)指標・目標値とも変更なし  
 ②…(見直し)指標の見直し(国準拠)  
 ③…(見直し)指標の見直し(県独自)  
 ④…(見直し)目標値の見直し(国準拠)  
 ⑤…(見直し)目標値の見直し(県独自)  
 ⑥…(新規)国準拠  
 ⑦…(新規)県独自  
 ⑧…(廃止)国準拠  
 ⑨…(廃止)県独自

健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」											
整理番号	分野	目標	評価指標		H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
					数値	指標年度	直近値	指標年度			
21	喫煙	喫煙率の減少（特に20～30歳代の喫煙率の減少）	成人の喫煙率		20.5%	H22	17.1%	R4	12%	B	県民健康・栄養調査
22			20～30歳代の喫煙率	20歳代男性	40.5%	H22	19.1%	R4	全国値以下25.4%(R1)	A	
23				20歳代女性	16.8%	H22	9.0%	R4	全国値以下7.6%(R1)	A'	
24				30歳代男性	46.8%	H22	38.1%	R4	全国値以下33.2%(R1)	B	
25				30歳代女性	19.6%	H22	11.2%	R4	全国値以下7.3%(R1)	B	
26			未成年者の喫煙率	高校3年生男子	2.1%	H22	0%	R4	0%	A	
27				高校3年生女子	0%	H22	0%	R4	0%	A	
28			妊娠中の女性の喫煙率		2.9%	H23	0.7%	R2	0%	A'	
29		受動喫煙の機会の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	3.6%	H24	3.0%	R4	0%	C	県政アンケート 県民健康・栄養調査
30				医療機関	2.4%	H24	1.0%	R4	0%	B	
31				職場	31.9%	H24	14.9%	R4	0%	B	
32				家庭	17.0%	H24	14.2%	R4	3%	B	
33				飲食店	39.3%	H24	10.8%	R4	15%	A	



【次期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」										【次期】健康日本21	
整理番号	分野	目標	評価指標		R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
					数値	指標年度					
16	喫煙	喫煙率の減少（特に20～30歳代の喫煙率の減少）	20歳以上の者の喫煙率		17.1%	R4	12%	県民健康・栄養調査	①	20歳以上の者の喫煙率	12%
			20～30歳代の喫煙率	20歳代男性	19.1%	R4	廃止	⑨	[設定なし]	-	
				20歳代女性	9.0%	R4		⑨	[設定なし]	-	
				30歳代男性	38.1%	R4		⑨	[設定なし]	-	
				30歳代女性	11.2%	R4		⑨	[設定なし]	-	
		20歳未満の者の喫煙率	高校3年生男子	「子ども」へ移動（P5参照）				中学生・高校生の喫煙者の割合	0%		
			高校3年生女子	「女性」へ移動（P5参照）				妊婦の喫煙率	0%		
		受動喫煙の機会の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	「自然に健康になれる環境づくり」へ移動（P6参照）				望まない受動喫煙のない社会の実現 [数値目標なし]	-	
				医療機関							
				職場							
	家庭										
		飲食店									

- ①…（継続）指標・目標値とも変更なし
- ②…（見直し）指標の見直し（国準拠）
- ③…（見直し）指標の見直し（県独自）

- ④…（見直し）目標値の見直し（国準拠）
- ⑤…（見直し）目標値の見直し（県独自）
- ⑥…（新規）国準拠

- ⑦…（新規）県独自
- ⑧…（廃止）国準拠
- ⑨…（廃止）県独自



健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」											
整理番号	分野	目標	評価指標	H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典	
				数値	指標年度	直近値	指標年度				
34	糖尿病	糖尿病による合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	94人	H22	125人	R3	90人	D	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」	
35		糖尿病による合併症の減少	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	6.7%の減少	H22	18.87%の減少	R3	25%以上の減少	B	厚生労働省「メタボ減少率推計シート」より	
36		特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率	50.2%	H22	66.3%	R3	70%	A'	特定健診・特定保健指導の実施状況	
37		特定保健指導の終了率	17.0%	H22	29.8%	R3	45%	B			
38	慢性閉塞性肺疾患	COPDの認知度の向上	COPDの認知度(20歳以上)	45.4%	H24	42.6%	R4	80%	C	県政アンケート 県民健康・栄養調査	
39	高齢者の健康	高齢者の心身機能の維持向上	運動習慣のある高齢者の割合(65歳以上)	男性	50.1%	H22	54.8%	R4	58%	B	県民健康・栄養調査
40				女性	42.1%	H22	48.7%	R4	48%	A	
41			栄養バランスを考慮して食事をとっている高齢者の割合(65歳以上)	71.8%	H22	77.5%	R4	80%	A'		
42		高齢者の社会参加の向上	地域活動に参加している高齢者の割合(65歳以上)	35.2%	H22	43.2%	R4	45%	A'		



【次期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」										【次期】健康日本21	
整理番号	分野	目標	評価指標	R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値	
				数値	指標年度						
17	糖尿病	糖尿病による合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	125人	R3	118人	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」	⑤	糖尿病腎症の年間新規透析導入者数	12,000人	
18		糖尿病による合併症の減少	平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	18.9%の減少	R3	25%以上の減少	厚生労働省「メタボ減少率推計シート」より	②	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	令和6年度からの第4期医療費適正化計画に合わせた設定	
19		特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率	66.3%	R3	70%	特定健診・特定保健指導の実施状況	④	特定健康診査の実施率	同上	
20		特定保健指導の終了率	29.8%	R3	45%	④		特定保健指導の実施率	同上		
21	慢性閉塞性肺疾患	COPDの死亡率の減少	COPDの死亡率(人口10万人当たり)	18.3	R3	10.0	人口動態調査	②	COPDの死亡率(人口10万人当たり)	10.0	
	高齢者の健康	高齢者の心身機能の維持向上	運動習慣のある高齢者の割合(65歳以上)	男性	54.8%	R4	廃止	⑧	[第3次から削除]	-	
				女性	48.7%	R4	廃止	⑧	[第3次から削除]	-	
22		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(65歳以上) ※栄養・食生活の指標の一部を再掲	-	-	50%	県民健康・栄養調査 (設問の変更を要する)	③	[設定なし]	-		
23		BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合	男性10.9% 女性19.3%	R4	13%	県民健康・栄養調査	⑦	BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合	13%		
24		足腰に痛みのある高齢者の人数(人口千人当たり、65歳以上)	(R5秋頃判明予定)	R4	210人	国民生活基礎調査	⑥	足腰に痛みのある高齢者の人数(人口千人当たり、65歳以上)	210人		
25	高齢者の社会参加の向上	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている高齢者の割合(65歳以上)	-	※次回調査はR10年度	-	ベースラインから10%増	県民健康・栄養調査 (設問変更を要する)	②	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている高齢者の割合(65歳以上)	ベースラインから10%増	

- ①…(継続) 指標・目標値とも変更なし
- ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)
- ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)
- ④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)
- ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)
- ⑥…(新規) 国準拠
- ⑦…(新規) 県独自
- ⑧…(廃止) 国準拠
- ⑨…(廃止) 県独自

健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」

整理番号	分野	目標	評価指標		H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
			数値	指標年度	直近値	指標年度					
	栄養・生活	適正体重を維持している者の増加	学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定された者の割合(小・中学生)		2.6%	H23	2.9%	R4	1.8%	C	山形県学校保健の現況(スポーツ保健課まとめ)
		適切な量と質の食事をとる者の増加	児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生	9.9%	H24	13.7%	R4	4.5%	D	全国学力・学習状況調査
				中学3年生	12.7%	H24	16.7%	R4	6.2%	D	
		適正体重を維持している者の増加	20歳代女性のやせの者の割合(やせの者: BMI18.5未満)		25.5%	H22	22.2%	R4	20%	B	県民健康・栄養調査
	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)	男性	17.6%	H22	17.7%	R4	13%	C	県民健康・栄養調査
				女性	7.3%	H22	10.8%	R4	6.4%	D	
		未成年者及び妊娠中の女性の飲酒をなくす	未成年者の飲酒割合	高校3年生男子	4.3%	H22	0%	R4	0%	A	県民健康・栄養調査
				高校3年生女子	2.0%	H22	0%	R4	0%	A	
		妊娠中の女性の飲酒割合			4.2%	H23	0.8%	R2	0%	A'	母子保健事業のまとめ
	喫煙	未成年者の喫煙をなくす	未成年者の喫煙率	高校3年生男子	2.1%	H22	0%	R4	0%	A	県民健康・栄養調査
				高校3年生女子	0%	H22	0%	R4	0%	A	
			妊婦の喫煙をなくす	妊娠中の女性の喫煙率		2.9%	H23	0.7%	R2	0%	A'



【次期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」

【次期】健康日本21

整理番号	分野	目標	評価指標		R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
			数値	指標年度							
26	子ども	児童・生徒における肥満児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合(10歳(小学5年生)男子)		確認中		減少	学校保健統計調査	③	児童・生徒における肥満傾向児の割合(10歳(小学5年生)男子)	減少
27		児童・生徒の食による健康促進	児童・生徒の朝食欠食率	小学6年生	13.7%	R4	10%	全国学力・学習状況調査	⑤	【第3次から削除】	—
28				中学3年生	16.7%	R4	10%		⑤	【第3次から削除】	—
29		20歳未満の者の飲酒をなくす	20歳未満の者の飲酒割合	高校3年生男子	0%	R4	0%	県民健康・栄養調査	①	中学生・高校生の飲酒者の割合	0%
30				高校3年生女子	0%	R4	0%		①		
31		20歳未満の者の喫煙をなくす	20歳未満の者の喫煙率	高校3年生男子	0%	R4	0%	県民健康・栄養調査	①	中学生・高校生の喫煙者の割合	0%
32				高校3年生女子	0%	R4	0%		①		
33	再掲	適正体重を維持している者の増加	20歳~30歳代女性のやせの者の割合(やせの者: BMI18.5未満)		22.2%	R4	15%	県民健康・栄養調査	②	BMI18.5未満の20歳~30歳代の女性の割合	15%
34		骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率		確認中	R4	15%	地域保健・健康推進事業報告	⑥	骨粗鬆症検診受診率	15%
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)【再掲】	女性	10.8%	R4	6.4%	県民健康・栄養調査	①	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(女性)	6.4%
35		妊婦の飲酒をなくす	妊娠中の女性の飲酒割合		0.8%	R2	0%	母子保健事業のまとめ	①	【第3次から削除】	—
36		妊婦の喫煙をなくす	妊娠中の女性の喫煙率		0.7%	R2	0%	母子保健事業のまとめ	①	妊婦の喫煙率	0%

①…(継続) 指標・目標値とも変更なし  
 ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)  
 ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)

④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)  
 ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)  
 ⑥…(新規) 国準拠

⑦…(新規) 県独自  
 ⑧…(廃止) 国準拠  
 ⑨…(廃止) 県独自

健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」の個別目標見直し案

【現 行】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」											
整理番号	分野	目 標	評価指標		H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
					数値	指標年度	直近値	指標年度			
	喫煙	受動喫煙の機会の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	3.6%	H24	3.0%	R4	0%	C	県政アンケート 県民健康・栄養調査
				医療機関	2.4%	H24	1.0%	R4	0%	B	
				職 場	31.9%	H24	14.9%	R4	0%	B	
				家 庭	17.0%	H24	14.2%	R4	3%	B	
				飲食店	39.3%	H24	10.8%	R4	15%	A	
	栄養・食生活	管理栄養士等が栄養管理を行っている給食施設の増加	管理栄養士又は栄養士を配置している特定給食施設の割合		70.5%	H23	79.5%	R4	80%	A'	衛生行政報告例



【次 期】健康やまがた安心プラン「第3章 健康増進」										【次期】健康日本21	
整理番号	分野	目 標	評価指標		R5年度プラン策定時		R14年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
					数値	指標年度					
37	自然に健康になれる環境づくり	受動喫煙の機会の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	3.0%	R4	0%	県民健康・栄養調査	①	望まない受動喫煙のない社会の実現 〔数値目標なし〕	-
38				医療機関	1.0%	R4	0%		①		
39				職 場	14.9%	R4	0%		①		
40				家 庭	14.2%	R4	0%		④		
41				飲食店	10.8%	R4	0%		④		
42	誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	利用者に応じた食事提供を行っている給食施設の増加	管理栄養士又は栄養士を配置している特定給食施設(病院・介護老人保健施設、介護医療院を除く)の割合		75.3%	R4	80%	衛生行政報告例	②	管理栄養士・栄養士を配置している施設(病院・介護老人保健施設、介護医療院を除く)の割合	75%
43		健康経営に取組む企業数	「やまがた健康企業宣言」登録事業所数		1,529社	R5.5月	2,000社	「やまがた健康企業宣言」登録制度	⑥	保険者とともに健康経営に取組む企業数	10万社(R7)

- ①…(継 続) 指標・目標値とも変更なし
- ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)
- ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)

- ④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)
- ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)
- ⑥…(新 規) 国準拠

- ⑦…(新 規) 県独自
- ⑧…(廃 止) 国準拠
- ⑨…(廃 止) 県独自